

令和7年度第10回士別市教育委員会会議録

1. 日 時 令和8年1月14日(木) 午後3時30分～午後5時10分
2. 会 場 士別市教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 泉 山 浩 幸 生涯学習部長 丸 徹 也
職務代理者 馬 場 千 晶 学校教育課長 岡 田 詔 彦
委 員 加 藤 洋 之 社会教育課長 千 葉 真 奈 美
委 員 山 田 敦 久 合宿の里・スポーツ推進課長 徳 竹 貴 之
委 員 多 田 千 鶴 給食センター所長 河 口 光 輝
図書館長 佐 藤 祐 希
図書館副長 藤 田 昌 宏

4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

(1) 教育長挨拶

【各種会議、イベント等について写真などを用いて説明】

- ・市庁舎に毎年飾られている鏡餅は、北ひびき農協から寄贈されており、この3色には緑が大地、赤が太陽、白が農民・市民で、それが重なり合って街を作っているという意味がある。
- ・12/24 からチャレンジ寺子屋を実施。翔雲から高校生ボランティアで参加いただき、体育館ではモルックを行った。
- ・12/26・27 に朝日ノルディックスキー大会が開催され、ジャンプとクロスカントリー競技が行われた。
- ・1/2・3 に開催された箱根駅伝で、士別出身の中央大学 本間くんが2年連続で区間賞を獲得。5日に市長を表敬訪問された。
- ・1/5 に、みよし市への最後の派遣研修の学習会が行われた。出発は7日の朝6時ごろであるため、5日に出発式も行われた。団長は温根別小の栗原校長である。
- ・1/11 に、はたちを祝う会を開催し、100人ぐらいの参加。馬場代理に司会をしていただいた。図書館から図書の配布があり、110冊のうち32冊が持ち帰られたとのこと。とてもいい取り組みだった。
- ・朝日地区で先生方と子どもたちの演劇があり、最初に先生方が演じ、同じ題目を子どもたちが演じて、比べて見ることができ、とても面白かった。
- ・教育委員会の1月のスローガンを「倍倍ファイト」「有言実行」とした。3月になると引継ぎが行われ、「やれなかった」という引継ぎがよくあるが、「やらなかった」のではないかと。できるかできないかも大事だが、その前に失敗しても、やるかやらないかが大事。

(2) 議事について

○泉山教育長 進行

議案第21号 令和7年度士別市教育委員会補正予算について、説明を求める。

○河口所長

小学校給食費支援事業について、国の抜本的な負担軽減、給食の無償化と示されており、給食費の基準額が1人、月5,200円掛ける11か月分で、年間5万7,200円とされており、1食あたり294円と

想定している。また、令和8年度は持参ご飯を廃止し、完全委託ご飯という形になり、現在、小学生は1食301円であるが、ご飯代の増分を加算すると360円と見込んでおり、今後、士別市学校給食会で承認をいただくことを想定し、積算をしている。

来年度、この不足分667万1,000円については臨時交付金を活用し、小学生の保護者からの負担を求めない形で考えている。(15:11)

中学校の学校給食米飯支援事業について、小学生については国から負担軽減補助となっているが、中学生については国から支援というのは示されていない。中学生の給食は1食あたり354円であるが、8年度からの委託ご飯化に伴って420円と想定している。負担増の部分については、臨時交付金を活用し、保護者負担を据え置くことを検討している。それに伴う予算として、上昇分391万9,000円を計上している。

○丸部長

1月23日に令和8年度第1回臨時会が開催される予定で、国の物価高騰対策臨時交付金に関連する事業を一括して上程する予定であり、教育委員会としては、この2案件を上程させていただく。

昨年から国の方で言っていた、学校給食の無償化に関する事業であり、まずは小学校の部分ということで今回国から示された。国も保護者の負担がないような交付金という形で支援できれば一番わかりやすかったが、示された給食費の基準額というのが、1食あたり66円程度足りないため、この交付金を使って、無償化を行うという内容になっている。

あわせて、持参ご飯はこれまで週に2回だったものを、8年度からこれをやめるってということで、それにかかる負担増分、中学生については物価高騰対策交付金を使って子育て世代の支援策ということで対応してまいりたい。

○加藤委員

この予算は交付金で賄われるが、来年度からどうするのかという話になる。国の交付金がなくなれば市の単費で賄うことになってしまう。

○泉山教育長

士別市は完全給食に入るが、週2回は持参ご飯だったということだから、その分の約60円を家庭負担にはできないだろうということで交付金を充てるが、使えるのは来年で、その先はわからない状況である。

また、中学校が再来年度からどうなるのか、注視していく必要がある。

補正予算については、よろしいか。

(全員了承)

○泉山教育長

議案第22号 令和8年度士別市教育委員会予算(案)について、説明を求める。

※別冊の令和8年度予算案について、新規事業や変更があった事業などについて各担当課から説明。

○泉山教育長

8年度予算案について説明があったが、本日、市長ヒアリングがあり、変更になった部分もあるが、概ねこのように予算要求している。委員の皆さんからご質問などはあるか。

(意見なし、全員了承)

○泉山教育長

議案第23号 士別市立小中学校通学区域規則の一部を改正する規則について、説明を求める。

○岡田課長

小中学校通学区域について、今年度末で閉校になる温根別小学校の部分を削除するという改正内容で、別表にあるとおり、温根別小学校を削除し、土別小学校の通学区域に温根別町全域を加える改正となっている。

○泉山教育長

規則の一部改正について、温根別小学校の閉校に伴う改正であるが、これについてはよろしいか。
(意見なし、全員了承)

○泉山教育長

議案第24号 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について、説明を求める。

○岡田課長

毎年行っている、全国体力・運動能力、運動習慣調査について、北海道のホームページに各市町村の結果を掲載しており、土別市の結果として6年度と同様に掲載するにあたり、承認をいただきたい。

○泉山教育長

今年まで同じフォーマットで作成されていたが、全国学習状況調査と同様に、来年度からは各市町村が独自に作成したものを掲載する形になる。
これについて、ご承認いただいてよろしいか。
(全員了承)

(3) その他

◇第4次土別市子ども読書活動推進計画について

○佐藤館長説明

- ・計画期間は、令和8年度から12年度までの5年間
- ・基本理念・基本理念に変更なし。計画推進の主な取り組みの変更点について説明。
- ・今後のスケジュールとして、1月20日からパブリックコメント、2月下旬に第4回策定委員会、3月の教育委員会会議を経て公表する予定。

◇第3期土別市スポーツ推進計画について

○徳竹課長説明

- ・計画期間は、令和8年度から15年度までの8年間で、まちづくり総合計画とリンクしている。
- ・主題を「スポーツで輝く、人・まち・未来」、副題を「人をはぐくみ、未来へひらく、生涯スポーツのまち」とした。
- ・令和6年12月16日に第1回土別市スポーツ推進審議会を開催したのち、6年度末に市民スポーツ意識調査を実施、7年度にスポーツ推進審議会、スポーツ推進委員会、スポーツ協会との協議を進めてきている。
- ・今後、2月13日から3月16日までの30日間でパブリックコメントを実施し、3月下旬に第5回スポーツ推進審議会に答申をいただき、4月実施とする。

◇朝日地区義務教育学校の校名について

○岡田課長説明

- ・令和9年4月に開校する、朝日地区義務教育学校の校名について、11月に募集を行い、11件の応募の中から選考委員会で4件に絞り、糸魚小、朝日中の児童生徒にアンケートを実施したところ、「土別市立あさひ未来学園」が一番多く、義務教育学校の校名として準備を進める。

・ 今後は、日程は未定であるが、総合教育会議で校名を決定し公表としたい。

学校設置条例の一部改正を第1回定例会に提案し、周知も図っていききたい。

◇令和7年度生活リズム実態調査の分析結果について

○千葉課長説明

・ 市内の幼稚園・保育園・小学校の保護者に質問票を配布し、回収率は54.4%（前年は51.3%）。

・ 結果としては、昨年度と比較して大きな変化はなかった。

◇当面する今後の日程について

○丸部長説明

午後5時10分、会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署 名 者 泉山浩幸

会議録調整者 岡田 詔彦